

三重大学血液内科 学術研究に関するお知らせ

造血器腫瘍の遺伝子発現に関する研究

この研究は、リンパ腫や白血病などの造血器腫瘍における各種遺伝子発現を、PCR法、および一度に約4万個の遺伝子を調べることができる遺伝子発現プロファイリングという方法により網羅的に解析し、その結果を患者様の症状や検査データ、診断、治療の効果と事後に比較検討することで、将来の診断や治療に有用な新知見を得ることを目的としています。

当科にて1987-2002年にリンパ腫あるいは白血病の診断のための検査を受けられた患者様へ

当院は患者様の治療を最優先としておりますが、同時に医学の発展を目的とした教育、研究の機能も担っております。

血液内科では、造血器腫瘍の予後因子、および治療に関する研究を続けており、患者様に貢献できるよう努力しております。

当科では診療業務の一環として、リンパ腫患者様の診断のために採取したリンパ腫組織（生検リンパ節など）の一部、および白血病患者様の診断のために採取した骨髓液・末梢血の一部を、患者様の治療選択、あるいは新しい診断・治療法が発見された場合に備えて凍結保存を行っています。

研究の内容、方法について

この研究では、1987年-2002年に採取、保存しておりますリンパ腫組織あるいは白血病細胞の一部を用いて、各種遺伝子発現をPCR法および遺伝子発現プロファイリング法により解析します。

保存検体は、病気の種類（病型）、症状、臨床検査データ、年齢、性別の情報を付与し、匿名化、番号化したうえで、研究に使用いたします。結果については、基本的には個人名との照合はいたしません。ただし、患者様の希望があれば検査結果をお伝えします。なお、この研究に関し、患者様の費用負担は一切ありません。この研究は腫瘍細胞および組織における遺伝子発現を調べることを目的としており、患者様自身の遺伝的な素因を明らかにする研究は行われません。

この研究の内容および方法は、当学倫理委員会での厳正な審査の結果承認が得られ、実施について当学医学系研究科長の承認を得ています。ご自分の検体をこの研究に使用してほしくないとお考えの患者様は、下記の連絡先までご連絡をお願い申し上げます。このご案内に関するご質問も下記宛てにお願いいたします。検体の使用にあたっては、患者様およびご家族に診療上の不利益などが一切生じないよう、以下のことを厳守いたします。

- 医学研究以外には使用しない
- 患者様およびご家族の氏名は公表しない。個人情報厳密に守秘する
- 研究結果は学会、研究会、学術論文以外では発表しない
- いつでも同意は撤回可能であり、それによって患者様に不利益を及ぼすことはない

連絡先、この研究の研究責任者

三重大学医学部附属病院血液内科 講師 山口 素子
住所 〒514-8507 三重県津市江戸橋2-174
電話 059-231-5016 FAX 059-231-5200